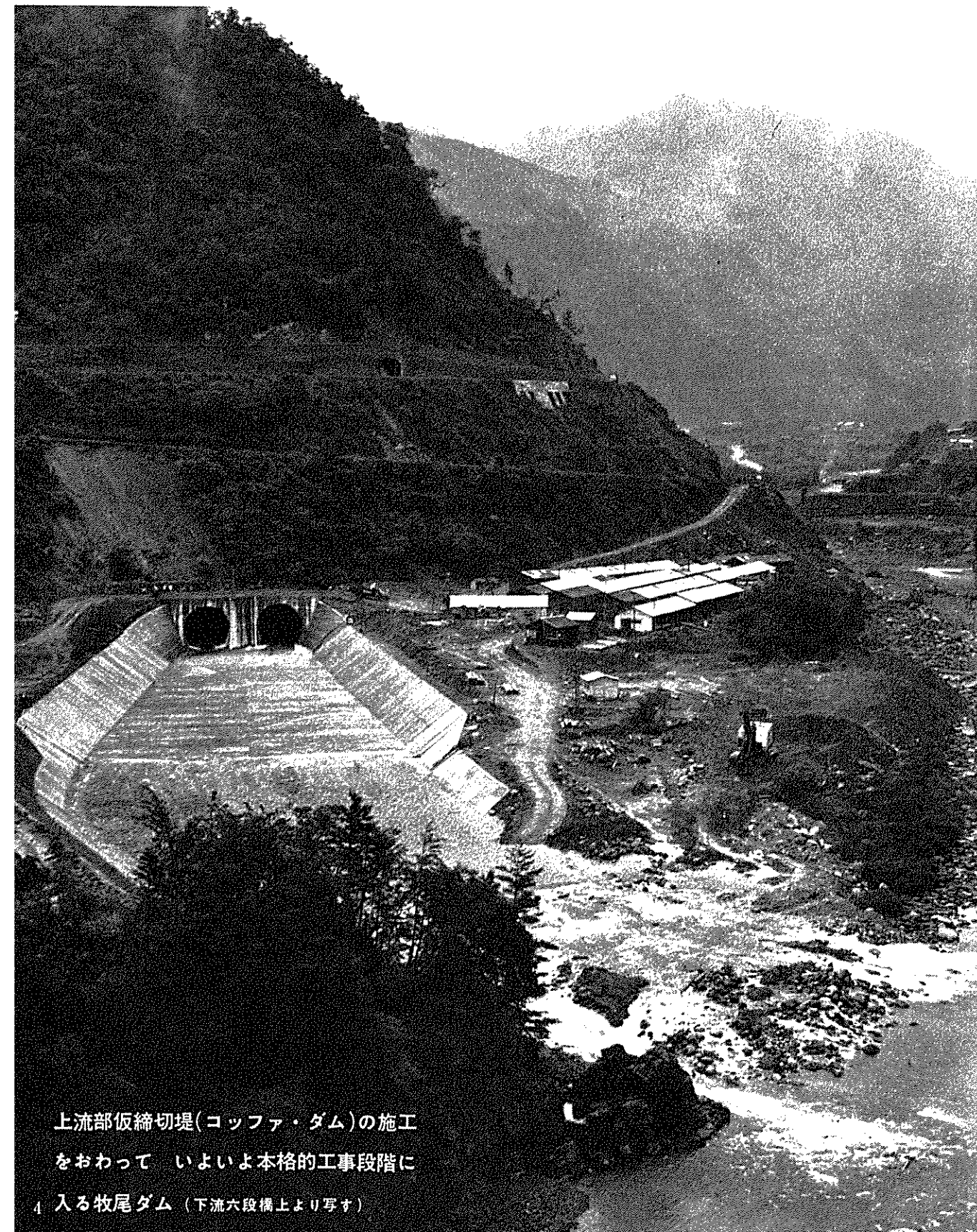


牧尾ダム 本体工事がいよいよ着手



上流部仮締切堤(コッフア・ダム)の施工
をおわって いよいよ本格的工事段階に

1 入る牧尾ダム (下流六段橋上より写す)



公団技術陣の 真価を決定する 牧尾ダム施工

牧尾ダム本体工事はさる5月初め、バイパスを施工した西松建設との間に契約が成立した。同社では直ちに1200人の労務者を現場に送り込み、一方15トンから25トンという超ど級の重機械群も続々到着して、万全の現場態勢は着々どとのえられた。

23億余という工費もさることながら、堤体積254万 m^3 の大ロックフィルダムをわずか3年で完成させようという画期的な工事計画は、むしろ本邦農業土木始まって以来の大工事である。

それだけに技術的な難問題も少くないのであるが、しかし、いずれにしても公団技術陣の真価は、この牧尾ダムによって決定づけられるとわいていであろう。すでに、この責任ある課題の解明に向けて、公団技術陣はその第1歩を踏み切ったのである。

ダム現場第1線に日夜健闘する右から、
原田堰堤担当理事、高嶺工事課長、内藤
次長、瀬戸事業所長、山口庶務課長

